

GOOD LIVING HEADLINE

ビジネス
ユーザーの皆様へ

4
2020

商品のトレンドや新しい制度などお役に立つ情報を、日頃お引き立ていただいているビジネスユーザーの皆様へ発信します。

2020年4月1日、改正浄化槽法が施行

合併処理浄化槽への転換を ビジネスチャンスに!



浄化槽法の
一部が改正され、
単独処理浄化槽から
合併処理浄化槽への転換が
さらに推進されること
となりました。
これを機に、お客様へ
浄化槽の入替・水回り
リフォームをご提案
してみませんか?

改正のポイント

「単独処理浄化槽」は、し尿のみを処理し、その他の生活雑排水を河川等に流してしまうため、水質悪化の原因となっています。そこで2000年の改正で単独処理浄化槽の新設は原則禁止されましたが、未だ多くの単独処理浄化槽が残っているため、「合併処理浄化槽」への転換促進の措置が取られることとなりました。

全体の50%以上が
まだ単独処理浄化槽

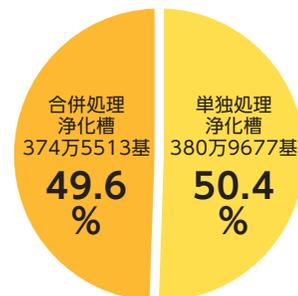
特定既存単独処理浄化槽に対する措置

都道府県知事は、「特定既存単独処理浄化槽*」の浄化槽管理者に対して、その除却など必要な措置の助言・指導ができる。また、相当の期限を定めて勧告・命令も可能となる。

*「特定既存単独処理浄化槽」=既存単独処理浄化槽であって、そのまま放置すれば生活環境の保全及び公衆衛生上重大な支障が生ずるおそれのある状態にあると認められるもの

公共浄化槽の設置

市町村が浄化槽処理促進区域で「公共浄化槽」を設置した時は、建築物の所有者は遅滞なく、汚水を公共浄化槽に流入させるために必要な排水設備を設置し、及びみ取便所を水洗便所に改造しなければならない。違反者には勧告・命令が可能となる。



環境省「平成30年度における浄化槽の設置状況」より

単独処理浄化槽は全国に約381万基

つまり約381万戸世帯がリフォームのターゲットです!

合併処理浄化槽への転換に伴う工事には
公的助成制度があります!

単独処理浄化槽が設置されているのは
築20年以上の戸建住宅が大半

単独処理浄化槽から
合併処理浄化槽への入替助成金額(例)

- 浄化槽設置の助成補助金 36万円 ※5人槽の場合
 - 掘り起こした浄化槽処分の助成 9万円
 - 宅内配管工事費の助成 30万円
- 合計75万円の補助!

助成金が支給される
浄化槽入替時が
水回り全体をリフォームする
ベストタイミングです!!



※助成制度は市町村によって異なります。詳しくは各市町村へお問い合わせください。

裏面に続きます▶

最新の
合併処理浄化槽は、
よりコンパクトに
工事やすく
進化しています!



選ぶなら入替工事がしやすく、施工性の高いハイバッキーKRS型

進化Point 1

コンパクトで扱いやすい

高さも幅もコンパクトで、単独処理浄化槽とほぼ変わらないサイズ。
従来より小型のミニショベルが使えるため、浄化槽の入替工事が楽になります。



進化Point 2

湧水・岩盤リスクを軽減

掘削深度が浅くて済むため湧水・岩盤リスクが軽減され、水替え工事が不要になる可能性がアップ。
高上げ設置でも掘削深度2m未満で、地山掘削に関する作業主任の指導が軽減されます。

新製品

業界No1クラスの
浅型スリム設計

家庭用 省エネ高度処理型

全浄協登録品

ハイバッキー KRS型登場!

リフォームにも新築にも最適な省エネ、高度処理型浄化槽登場!



新技術により、単独処理浄化槽とほぼ同サイズの合併処理浄化槽の商品化を実現しました。浄化槽の高さを低くしても、汚泥貯留能力確保と省エネルギー化、そして高度処理化を可能としました。

処理方式

沈殿分離・嫌気ろ床・接触ばっ気方式

処理性能

流入水質(mg/L以下)、
BOD200、
T-N45、SS160、
COD100

放流水質(mg/L以下)

全浄協登録値 BOD20 T-N20

性能評価
大臣認定値 BOD20 T-N20 SS15 COD30

特徴1

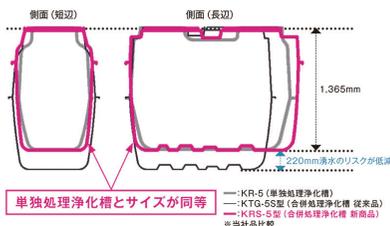
既設単独処理浄化槽の 入替え工事が容易

全高が低く、全幅が小さい

ミニショベルは、さらに小型のものを使えるようになり、施工性が向上します。

掘削深度が浅い

掘削時の湧水のリスクが軽減されますので、水替え工事が不要になる可能性が増えます。高上げ設置でも掘削深度2m未満で、地山掘削に関する作業主任の指導が軽減されます。(例:高上げ300mm+本体1,365mm+基礎スラブ100mm+捨コン50mm+割栗石100mm=1,915mm)



特徴2

DCPD※の採用で 浄化槽が割れにくい

黒いボディは、信頼の証。
軽量で衝撃に強い樹脂を採用
※ジクロロペンタジエン樹脂

地震に強い浄化槽

使用可能は約96%

(参考資料:一般社団法人全国浄化槽団体連合会「大規模災害緊急対応マニュアル」による)

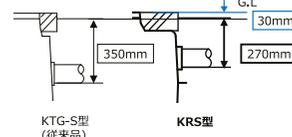


(出典:一般社団法人新潟県浄化槽整備協会資料)

特徴3

放流先への 接続性が向上

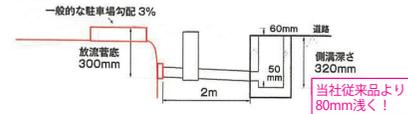
放流菅底が浅いので、放流ポンプ槽を用いなくても、側溝へ直接接続できる可能性が高まりました。これにより、浄化槽を配置するレイアウトの自由度が広がりました。



側溝深さが浅い場合でも側溝へ直接接続できる可能性が広がりました。(放流ポンプ槽付帯率低減)

KRS型

放流管底が強い



■ 駐車場施工の例: 放流口~側溝まで2mの場合

編集後記

単独処理浄化槽は、昭和40年代から進められたトイレ水洗化の有力な手段として、下水道とともに急速に普及しました。普及の初期から約50年が経ち、単独処理浄化槽はかなり老朽化したものも多くなっています。水質保全の観点から、早急に取り組みなければいけない「合併処理浄化槽」への転換。地球環境を守るとともに、水回りのリフォームによって、生活者が暮らしをより快適にバージョンアップする転機となることを願います。